

医療経済評価―入門編―

所属 国立成育医療研究センター 政策科学研究部 政策評価研究室

講演者名 星野 絵里

本講演前半では、医療経済評価の入門編として、医療経済評価の役割と特徴について説明する。後半では、医療経済評価の事例を紹介する。

医療経済評価とは、医療技術によって得られる効果をかかった費用と合わせて考慮し、その費用対効果や財政的な影響を評価するものである。欧米諸国では近年、医療政策にこの費用対効果評価を取り入れ、医薬品や医療技術の公的な保険償還の可否や、価格を決定する際に活用されている。日本では数年間の試行期間を経て、2019年度に新たな制度として導入された。

医療経済評価においての要といえるモデル分析は、診療パターンの入り組んだ複雑な構造を、本質的なシンプルな要素に縮約し、科学的・合理的な意思決定を支援するためのツールである。まず、モデル分析に先立ち、PICO (P:対象患者、I:介入、C:比較対照、O:アウトカム) の設定が完了していることを確認する必要がある。その上で、対象患者(P)の病態を表し、そのアウトカム (O) を予測する数理モデルを構築する。